

令和6年度 第3回 学校運営協議会 記録

1 日時 令和7年1月30日（木）14：30～

2 場所 北杜市立長坂中学校 会議室

3 協議 次第

（1）はじめの言葉

（2）会長挨拶

- ・11月9日実施の「災害時における地域の学校の連携について考える集い」は意義のあるものであった。
- ・授業参観を通して長坂中学校の生徒の様子を確認できた。また、運営協議会で報告・討議を通じ生徒の実態を理解する機会にしたい。
- ・学校だけでは解決できない課題についても取り組んでいきたい。

（3）校長挨拶

（4）議事

1) 本年度の学校運営協議会の活動（取組）について

①第1回学校運営協議会

令和6年6月7日（金）14：00～ 於 長坂中学校会議室

【協議事項】

- ・長坂中学校学校運営協議会設置要綱並びに長坂中学校の教育 他

②第2回学校運営協議会

令和6年10月29日（火）15：30～ 於 長坂中学校会議室

【協議事項】

- ・全国学調、県学力把握検査・働き方改革・校則の変更 他

③災害時における地域と学校の連携について考える集い

令和6年11月9日（土）10：00～ 於 長坂中学校会議室・防災倉庫

- ・深沢朋彦氏（北杜市役所消防防災課）講演会
- ・意見交換・防災時における学校の役割説明
- ・防災倉庫見学

【熟議】

○集いの開催に関する回覧板が長坂町内を回ったが、情報の周知には至らなかったのではないか。

○回覧板が効果的ではないことが分かったことも成果の一つと考えられる。

○学校のHPを含めた地域への諸情報の発信の方法については、今後検討していきたい。

④第3回学校運営協議会

令和7年1月30日（木）14：30～ 於 各教室・会議室

【協議事項】

- ・学校経営の様子学校評価、R7教育課程 他

2) 学校経営の状況について

①今年度の教育課程の実施状況

○現状の授業日数202日の中で、行事の見直し・精選を行いながら「授業時数」の確保に努めている。現段階で、ある程度の授業時数の確保の目途がついた。未履修がないようにしていきたい。

②生徒指導上の課題

○長坂中学校の課題としては「長欠生徒」の問題である。ステップルームの開設、サポートルームの活用等でも成果は上がってきてている。また、校内研究を中心に「多様な生徒を包摂する取組」を進めている。

質問：長欠生徒数に変化はあるのか。

説明：人数に関しては昨年度と同数の状況。11月実施のQU検査や学校評価の生徒用アンケートでは、肯定的な回答内容が増える等、成果が出始めている。様々な取り組みを継続することで、更なる成果を期待していきたい。

③第2回学校運営委員会以降の本校の状況

○長坂中学校太鼓隊 チャレンジ150山人会賞 受賞

○校則の見直し 他

3) 学校評価について

○個々の要望・質問には校長が個別に対応済。理解を得ることができた。

○部活動の活動時間の確保に努めているが、数年前とは部活動に関する状況が変化している。(ガイドラインの徹底等)保護者の中には、ご自身の経験と関連付け、活動時間のより一層の確保を望む声もあるが、今後もPTA総会等で説明の場を設けたり、共通理解を図ったりしていきたい。

○アンケート実施・分析にあたって「嘘がない」ことが大切である。この分析は、この点において価値がある。「働き方改革」は「教員が楽になる」ための改革ではない。そのことを保護者に伝えることが課題である。

質問：部活動の外部指導者に対する意見がいくつかあるが、どのような点が指摘されているのか。

説明：外部指導者の、生徒個々に対する対応の差に関する指摘が多い。

ちなみに、本校では、テニス部・女子バスケ部・卓球部・美術部・吹奏楽部が指導員を置いている。今後も指導者との話し合いの場を設定し、適切な運営を図っていきたい。

質問：部活動の地域移行(連携)の状況について伺いたい。

説明：北杜市では県と連携したり、近隣の市町と情報を共有したりするなど、取組を進めている。地域移行とは少々異なるが、北杜市内の中学校では、校長会が中心となり、いくつかの学校が一緒に部活動練習を行う「合同練習」を進めている。

テニス部も合同練習に参加した。実際の指導は指導員が行ったが、まだ、

練習会そのものの企画運営は顧問である教員の役割である。制度的には、指導員は大会等への引率も可能である。これらの点も改善されれば、次の段階へ進み、さらに前進することになる。

4) 令和7年度「教育課程」について

①グランドデザイン

○山梨県の指導指針説明会を受けて、今後付加修正していく。

②年間行事について

校長による説明を実施。その後、熟議に入る。

意見：学園祭(白藤祭)を2日から1日に短縮することで生ずる問題もある。

生徒及び保護者への取組の過程・計画的な面および内容面での説明も必要になる。再検討の必要もあるのではないか。

説明：市教委からも2学年の授業日数が202日で教育課程を作成する指導を受けている。その中で、中学3年の総授業時数1015時間の確保することは簡単なことではない。行事等の精選、授業時数の確保が課題である。

質問：1日で白藤祭を行う際の具体的な方策はあるのか。

説明：熱中症対策を含め、午前に体育部門、午後から吹奏楽部・太鼓隊等の発表。部門ごとの「はじめの会」「終わりの会を行わず、学園祭全体の開祭式・閉会式のみの実施で対応できると考えている。

質問：保護者へ説明をする機会はあるのか。

説明：2月10日実施の学年PTA総会で校長が行う予定である。

意見：自分たちが中学生の時は、文化・体育部門の2日で実施していた。生徒たちは白藤祭の縮小を望んでいるのか。白藤祭は長坂中学校の伝統の一つである。大事にしてほしい。

意見：授業時数の確保が難しい状況であるのは理解できる。また、優先すべきことである。その上で、生徒の活躍の場の確保は再考する方向で考えてほしい。

意見：子どもたちには、いろいろなことに挑戦していってほしい。

意見：「生徒が本当に思い切りやった経験」と思える機会を大切にしてほしい。

本協議会における提言を受け、年間計画等をさらに見直し、文化部門の学年発表及び体育部門の活動を授業として扱えるよう、指導要領等を考慮した内容とする。これにより、白藤祭を1.5日で計画することを決定した。

詳細については再度検討する予定。

③本年度からの主な変更点

○使用する教科書の変更 ○下校時刻の一部変更

○第2学年の宿泊学習を春から秋へ変更 等

5) 来年度の学校運営協議会について

①学校運営協議会の活動

②基本的な確認事項

③具体的な活動内容

④来年度の計画

⑤来年度の組織

上記5点を提案。

基本的な方向性は了承された。

なお、正式決定（承認）は来年度とする。

6) その他

質問：生徒の学習塾や習い事への参加状況はどうなっているのか。

説明：学校としては、詳細までは把握していない。

意見：小学校では「家庭環境調査票」に塾や習い事を記入する欄がある。

4 終わりの言葉